

第64回名古屋矯正管区教誨師研修大会 (近代宗教教誨150周年記念)

(JKA 競輪補助事業)

- 1 実施年月日 令和2年12月9日(水)  
2 会場 ホテル名古屋ガーデンパレス  
3 参加者 教誨師68名 矯正関係者3名 講師1名 その他関係者2名  
計74名

- 4 主 題 「安らぎの心を求めて」  
副 題 「新型コロナウイルスを想定した  
～新しい生活様式～の実践に即した  
教誨・研修会等の在り方及び教  
誨啓発について」



5 全体討議

- 課 題 1 教誨活動紹介DVD「心のやすらぎをもとめて」について  
課 題 2 新しい生活様式に合わせた教誨、研修会等の開催方法について

講 師 教誨活動紹介DVD「心のやすらぎをもとめて」

監督・映像制作 武蔵野美術大学非常勤講師 大田 晃 氏

助 言 者 全国教誨師連盟 6名

6 研修成果

本大会は大会テーマ「安らぎの心を求めて」、サブテーマ「新型コロナウイルスを想定した～新しい生活様式～の実践に即した教誨・研修会等の有り方及び教誨啓発について」のもと、近代宗教教誨150周年記念と位置付け、長い月日の中で、先人達が感染症と闘いながら教誨活動を続けて来たその熱き想いを感じ、我々が今出来る活動を模索し、2つの課題について、事前アンケートの結果を基に、全体討議を行った。

特にコロナ禍にて、十二分な防止策を講じたうえ、活発な討議がなされた。研修後のアンケート結果では、まず課題1について、大田晃氏の「対象となる被収容者のことを思い、制作に臨んだ」との言葉に、多くの参加者が感銘を受けた。「各自が先生の思いを共有し、施設に対しこのDVDを活発に利用されるように、働き掛



けをしなければならない」との内容も多く見受けられた。

少年施設所属の教誨師からは「少年院では教育を通して改善更生を図っているのに、宗教を前面に健全な心の育成を図ることは難しい。しかし道徳の理念が不確定なものである以上、宗教が持っている理念、自己を見つめ、心と心を結ぶことの大切さを伝えることは出来る。このDVDは少年たちの気づきになるであろう」との意見が出された。

また、課題2については本研修会の感染防止対策を評価するとともに、この大会を手本とし、研修会等を計画する。教誨については自己管理を徹底し、施設の予防策以上に対策を整え、実施することが肝要であると、前向きな意見が多く出された。

感染の不安がある中、参加者は被収容者のことを思い、熱心に討議研鑽された研修会であった。

